

長澤 祥

CDがアナログLPに聴こえる

音が聴こえない超高音域スピーカーをつなぐと音楽が本物に聴こえる不思議

音が聴こえないスピーカー

開発された理由とは

スピーカーシステムの種には、再生音を出来るだけ類を大別すると4つのタイプに分けられる。

スピーカー1つで構成される「シングル」タイプ。高音用と低音用2つで構成される「ツウエイ」タイプ。高音用・中音用・低音用3つで構成される「スリク」タイプ。高音用・中音用・低音用4つで構成される「フォー」タイプ。

スピーカーの数に関係なく、高音用・中音用・低音用3つで構成される「スリク」タイプ。高音用・中音用・低音用4つで構成される「フォー」タイプ。

スピーカーを増やす理由 30Hzから20kHzということ

オーディオ界の常識となっていた。CDもこの常識で開発された。

アナログレコードとの音質比較でCDが優位に立てないことがレコードファンの中で決定的となり、その理由はCDが高音域を20kHzでカットしているからというところも分かった。

そこでアナログレコード並みの音質を実現するため、0kHzまでの超高音域を加えるオーディオシステムが開発された。

スピーカー1つで構成される「シングル」タイプ。高音用と低音用2つで構成される「ツウエイ」タイプ。高音用・中音用・低音用3つで構成される「スリク」タイプ。高音用・中音用・低音用4つで構成される「フォー」タイプ。

超高音域をどうやってスピーカーの音に交ぜる

この特集で、A11-20Kはスピーカーたびたび紹介したフィテリックス社のナチュラル・ベクトラム・ハーモニータSH-20Kは、超高音域20kHzから100kHzまでを電氣的にCDに交ぜるシステムである。

ジャズを聴くとミュージシャンの気配が見える

A11-20KをスピーカーにつないでジャズのCDを聴いてみる。ジャズの録音はマイクロホン楽器に近く置くのレジャーとアンで、ミュージシャンの演奏の間に伴う動きも分かる。ピアノの音に感やシンバルの叩きわけの強弱感など。

今回開発されたアコースティック・ハーモニータの力太チが見えてくる。



